

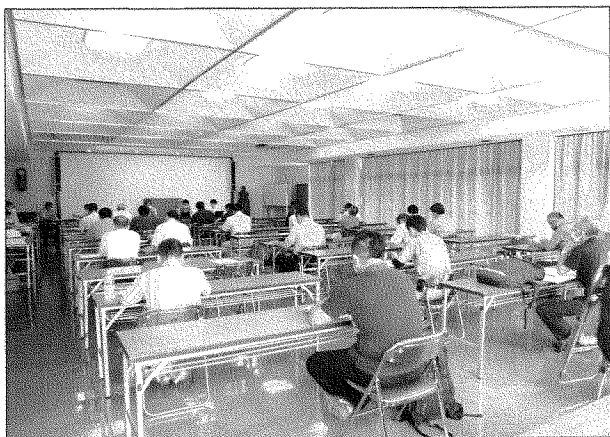
# 被災業者の再建の力になる制度に



12日、国と県は被災した中小企業者の新たな支援策（なりわい再建補助金）について、日田商工会議所や天瀬振興局で被災事業者に説明しました。従来より拡充され、柔軟な対応が出来る制度で大きな支援になります。参加者から質問や要望も出されました。

なりわい再建補助金制度は、大分県が作成する再建支援計画に基づき、業者等

## 国は中小企業者の復旧・復興支援策を発表 なりわい再建補助金の説明会開催



日田商工会議所の説明会

が行う施設復旧などに要する経費の一部を国と県が補助することで、復旧・復興を促進するものです。補助の上限額が3億円。補助率は4分の3を国県で、4分の1は申請業者が負担します。今回はさらに特例として、コロナの影響を受け、また数年前に豪雨や地震の災害に遭って3重苦の業者は、1億円以内の定額補助（全額国と県で補助）を受けられ、負担が軽くなります。説明の中で県は、さらに独自に補助率の上乗せを

検討していること述べました。2つの会場にはそれぞれ約50人が参加。参加者からは、申請期日はいつまでかの問いに、県の担当は「年度内をめぐるとし8月末に募集を始めたい」と答弁。事業が年度内に終わらないときはどうなるかという質問に、「過去の例では繰越を認めたこともあった」と答弁。またグループを作った時に参加した業者で補助が違ふこともあるのかの質問に担当は「今回はグループを作る必要はなく、一業者で申請でき県が申請を受け審査し国に計画を提出する」と答えました。その他「共有物の補助は」「浄化槽の改修の補助は」など質問や要望がありました。大谷、日隈市議が傍聴しました。

## 安倍政権の「敵基地攻撃能力の保持」を批判

8月6日、憲法9条を守る日田の会を中心とする「平和のため市民ウォーク実行委員会」主催で、市内を駅前からパトリア、郵便局の間を50分間かけ

行進しました。広島原爆投下の8時過ぎサイレンと共に黙とうを行った後、灼熱の日差しの中、沿道から「苦労様」の激励を励みに、マスク着用で、平和の音楽を流しながら静かに行進しました。

の感染が猛威を振るう中で迎えました。「軍事費を削って」コロナ対策に」との願いも聞かず、安倍政権は過去最高の軍事費を更新しています。「敵基地攻撃能力の保有」など新たな緊張を激化させています。9条改

## 9条守れと市民ウォーク



8月6日駅前商店街を行進中

8月15日の終戦記念日に、党日田市議団大谷、日隈両市議は、日田駅前をはじめ市内各地で街頭から憲法9条を守り平和な日本を目指す決意を述べました。今年は、新型コロナウイルス

75回終戦記念日に9条を守ろうと訴え

憲を許さない草の根の運動が求められています。

